

2012 年 12 月 30 日（日）の午後 1 時から、仙台パルコ 9F のイタリアンレストラン「トラットリア ラ・ベルデ」にて、仙台高校 46 回生 第 2 回学年同窓会と銘打って、同期会を開催しました。

今回は、帰省する人が多い年末に、担任・副担任の先生方も招待して、お酒を酌み交わしながら、親睦を深めることを目的に企画・開催し、Facebook やロコミで連絡の取れる人たちに加えて、仙台高校同窓会事務局から情報提供していただいた同窓生名簿のリストをもとに郵送でも学年同窓会開催の連絡をさせていただきました。当日は、曇り空で小雨模様のお天気でしたが、仙台市内の人を中心に、北海道から東京、中国の上海から帰省した人の参加もあり、そして、5 人の先生方（相原信三先生、板見潤一先生、小野寺康先生、佐藤満先生、鷲尾幸雄先生）にも出席していただき、約 30 名が集まる会になりました。



当初の予定よりは、かなり少ない人数になってしまい、大勢の人を集めるのは難しいことをつくづく感じましたが、これくらいの人数だったことで、先生方とゆっくり、お話をすることができ、和気あいあいとした雰囲気、和やかな楽しい会となりました。

開会宣言後の相原先生の乾杯の音頭から始まって、先生方の紹介と

ということで、ひとりひとりにマイクを持っていただき、近況報告を兼ねて、お話をさせていただきました。話を聞いていると、さながら、昔の授業を思い出すような、話しぶりは健在で、まるで、高校時代にタイムスリップしてしまったような感覚になりました。

各テーブルの上には、卒業アルバムのコピーや出席できない同窓生の近況や当時の社会の出来事をまとめたプリントを用意しましたし、



高校時代の懐かしい、思い出の品々を揃えたり、当時の数学や

英語の授業で使ったプリントを貼り出したり、そして、参加されなかった先生方から届いた近況を書いていたいただいたハガキを置いたり

とさまざまコーナーを設けて、盛り上がるように、いろいろな準備をしました。

こんなふうに、いろいろな工夫をしましたが、なんとといっても 1 番盛り

上がったのは、在学時の映像を上映した時でした。誰も目にしたことのない、卒業式の一部や 2 年 1 組の HR 研修旅行の映像にみんなの視線は釘づけになり、懐かしい人の顔や当時のファッションなどに笑い声と歓声が上がりました。映像の力には、凄いものがあると実感させられました。

そして、宴もたけなわになった頃に、幹事会からの挨拶があり、その後、みんなで校歌斉唱をしました。プログラムの冊子に印刷してある校歌の歌詞を見ながら歌いましたが、照れくさい気持ちもあり、あまり声は出ていませんでしたが、終盤には、合唱部に所属していた同窓生が、盛り上げて歌ってくれて、改めて、校歌の良さを感じました。

校歌斉唱の後には、先生方への花束と、記念品の贈呈ということで、仙台高校の同窓会で製作しているスポーツタオルを贈らせていただきました。それから、一本締めをして、最後に、全員で記念写真を撮影



して、閉会となりました。写真に写るみんなの楽しそうで、素敵な笑顔が印象的でした。散会時間を過ぎて、みんな名残惜しくて、なかなか帰ることができない感じでしたが、第3回学年同窓会での再会を約束して、それぞれが、帰途につきました。今後も継続していき、将来的にはホテルなどで、たくさんの同窓生を集めて開催できるようにしていきたいと思います。



というわけで、今回は、前回以上に盛り上がった、とても楽しい同期会だったことをお伝えして、報告とさせていただきます。

仙台高校 46 回生 学年同窓会
幹事 櫻井 理